

問 崩落現場の修復と安全対策は

答 再崩落防止を最優先とした措置をとらせてます

菅澤 博隆 議員
(所要時間82分)



一刻も早い復旧が必要では
県道側から見ると状況の変化は見えないが、事業者に対してどのような指導をしているか。

町長 6月11日、崩落事故の原因者者を町に呼んで厳重注意し、強く指示いたしました。

第1点、再被害防止を最優先とした措置を取ること
第2点、土砂流出による被害箇所を原状回復すること
第3点、これらの措置が図られるまで土砂の搬入等を停止すること
第4点、事業内容を明らかにする資料を提出すること
この内容について区長さんを通じ、地元区全戸に文書配布しました。現在、再崩落があった場合の土砂流出

問 通学路の整備と安全対策を

答 情報共有し、安全な環境をつくっていきます

佐藤 利治 議員
(所要時間60分)



子供たちの安全を守るために
危険箇所の確認とその共有について、町の考えと方向性を伺います。

町長 毎年、多古町通学路交通安全全プログラムに基づき、合同点検を実施、関係機関が互いに情報を共有し、連携を図りながら進めてまいります。

教育長 学校や保護者の方々からの情報を密にし、年度途中であっても継続して通学路の危険箇所の点検を行ってまいります。

町長 道路や交通安全施設の状況は日々変化し、いつ危険が

発生するか予想することは難しいですが、今後も十分な巡視活動を続けるとともに、さらなる安全対策の強化に努めてまいります。

総務課長

安全点検を実施し、県道路肩の青色塗装部については、塗り直し等の対策を依頼したところ。また、今後県道以外にも必要な部分については、保護者、PTA、町が、互いに情報共有し、積極的に進めていくことが必要であると考えています。

問 今後とも地域の皆様のご協力をいただきながら、町と議会一つになって効果的な通学路の整備、情報の共有を推進していただきたいと思います。

学校教育課長 引き続き、皆様と情報を共有させていただきます。引き続き、子供たちのためにより一層安全な環境をつくってまいります。

多古高校存続の危機感共有を

問 町と協議連携がなされているのでしょうか。

町長 町をはじめ、教育委員会、学校運営協議会は魅力ある学校づくりのための協議、意見、助言を行ってまいりましたが、それらに積極的に取り組む姿勢は見られず、学校側の反応の薄さを感じてお

多古町政を問う

教育長

これからも小中高、交流を深め多古高校との学校連携を行ってまいります。

問 多古高校存続の危機感と方向性の共有を目指すべきではないでしょうか。

町長 危機感を共有することは極めて重要です。多古高校を存続させるためにも、子供たちのためにも、町は魅力と特色ある学校づくりに向かっていけるよう、積極的に関与していかねばならないと考えています。



町との連携強化を

令和元年台風を教訓に

問 防災力向上はなされているのでしょうか。

町長 職員一同、できる限りのことを精一杯やっております。国、県の動向を見据えながら進めてまいります。

問 担当課の皆さんは努力されていますが、課題は残されています。町長の考えは。

町長 職員一同、できる限りのことを精一杯やっております。国、県の動向を見据えながら進めてまいります。

米価下落に町の支援を望む

問 米生産者の経営を守るため、直接支援が必要なのではないでしょうか。

産業経済課長 心情的には直接補填を、行政として考える中でいくつか問題があります。
1点目として、他業種も売り上げが減少している中で、農業だけを救うのかという問題。
2点目として、米は主力品目であるものの、他の品目との公平性の問題。

3点目として、収入保険等の救済制度がある中で、行政がどこまで直接補填に介入すべきかという問題。
4点目として、作付け転換した方や個別販路を持つ方々の実際の収入減少率が不明であることから、ばら撒きの制度になり、安易な直接補填により、今後の生産者の努力が期待

町長

一昨年の台風15号被害後も、速やかに非常用大型発電機の整備、電源切替盤の改修を済ませており、この台風を教訓に県や自衛隊、東京電力との連携体制が強化されました。また、災害時の避難体制においても充実、強化を図っております。

総務課長

災害はいつ来るかわかりませんが、事前の備えが大切です。今後も十分に協議しながら、必要なもの、必要な準備を少しずつ進めていきます。

問 新たな避難所の選定と町の考えを伺います。

町長 避難所の開設にあたっては、避難者の状況に応じて柔軟に対応してまいります。



災害時の備えを

できなくなる可能性があるという問題。
5点目として、予算を執行するにあたっては、より効果のある使い道に充てなければならず、ばら撒きに使うのか、基盤整備に使うのか、どちらが将来に渡って効果があるのかという問題。

町民の皆様からお預かりしている貴重な税金は効果的に使わなければならない、町としては、長期的な視野に立って予算を有効に執行し、各種施策によって多古米を守り育てていきます。



多古米を守り続けるために

多古町政を問う